九州

(九州ヘルスケア産業推進協議会(HAMIQ))

事務局

(一財) 九州オープンイノベーションセンター

TEL: 0 9 2 - 4 1 1 - 7 4 5 0 FAX: 0 9 2 - 4 7 2 - 6 6 0 9 E-mail: hamiq.info2@koic.or.jp ◆ 九州7県

◆ 設立:平成25年7月4日



協議会の概要

(目的) 九州地域における「健康寿命が延伸する社会の構築」の実現

- ・医療・福祉機器の高度化、地域特性を踏まえた新たなサービスの発現
- ・医療・福祉機器関連産業及び医療・介護周辺サービス産業の創出と 集積、積極的な海外展開
- ・ヘルスケア産業の先導的地域としての発展
- →ヘルスケアビジネスを振興するハブ機能を持った団体として、専門性を持った 多様な機関との連携による新規参入・新事業創出、国のヘルスケア産業戦略 の九州における実装を図っている。

体制図 会長 三谷 康範 九州経済産業局長 九州工業大学 学長 星野 光明 九州経済連合会 会長 副会長 稲留 秀一郎 倉富 純男 旭化成メディカル(株) 代表取締役社 九州経済連合会 九州大学先端医療オープンイノベーションセ 代表幹事 有江 勝利 ㈱正興電機製作所 九州医療機器団体連合会 取締役専務執行役員 (株)西日本シティ銀行 監事(1名) ※顧問、幹事(順不同) HAMIQ事務局 ※(一財)九州オープンイノベーションセンターが運営 会員

主な会員 (会員数:166企業・団体・個人※令和7年4月1日時点)

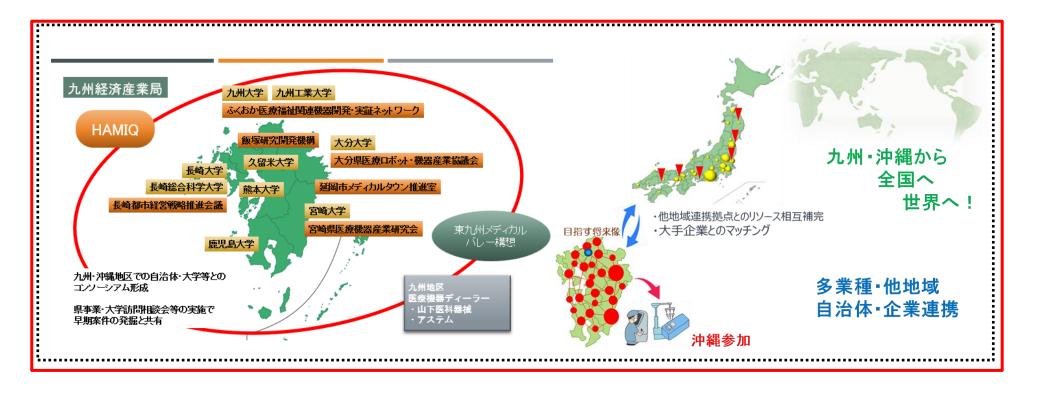
医療•介護関係機関	医療機関 計17機関
ヘルスケア関係	医療・介護サービス、製造、ICT、卸小売業等事業者
金融機関	福岡ひびき信用金庫、福岡銀行、西日本シティ銀行、みずほ銀行
大学•研究機関	九州大学、九州大学大学院、九州歯科大学、産業医科大学、大分大学
行政機関	九州各県・各市町村等 計40機関

1. 支援・連携体制のネットワーク構築による伴走型支援の実現

- ものづくりに精通した事業化人材、臨床工学技士、医療コンサル、海外エキスパート、弁理士などで構成する伴走支援チーム。 多種多様な相談案件に対応。
- 九州各県の自治体や大学等、産学官連携のネットワーク構築により企業等のシーズの事業化に繋げる。
- 九州経済産業局や中小機構の海外ネットワークと企業等との連携や海外での展示会出展サポート等による海外展開支援。
- オンラインコンテンツを活用した効果的な情報発信。

2. ヘルスケアサービスの推進

社会変化(DX、予防・健康づくりの取り組み)が進んでいるなか、ヘルスケア分野の課題を起点とした共創の場を提供するとともに、ヘルスケアサービスにおけるマッチング、実証など社会実装の促進を図る。



2024年度(R6年度)活動実績

<主な活動内容>

1. 医療・福祉機器関連産業の競争力強化やネットワーク・情報発信の充実

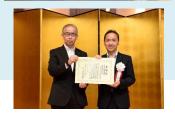
- 医療現場の多様なニーズとものづくり企業の優れたシーズのマッチング、医療機器メーカーの新市場開拓や技術開発を目 的にセミナーや展示会出展等を通じた海外を含む広域でのビジネスマッチング支援を実施。
- 事業化コンサルティングの実施。アカデミア、自治体・支援機関、ディーラー・臨床工学技士等それぞれを起点に医療機器 の開発案件を発掘・組成するとともに、「売れる視点」の医療機器開発の伴走支援を実施。
- 九州地域のヘルスケア産業の需要喚起や振興に貢献した優れた取組みや活動を表彰する"ヘルスケア産業づくり"貢献大 賞の表彰式を実施。R6年度は、大賞・九州経済産業局長賞・九州経済連合会会長賞各1者、特別2者の5者が受賞。
- HAMIQのHP上でヘルスケア関連事例やビジネス展開事例を紹介する情報誌「Healthcare NEXT」を掲載。その他、 国内のものづくり企業が製造した医療関連製品を紹介するサイトを構築する等、九州管内の企業やヘルスケアに関する情 報発信を強化。

2.新たなヘルスケアサービスの社会実装に向けたヘルスケアスタートアップの支援拠点整備

- 各関係機関と連携体制を構築しているHAMIQを支援拠点と位置づけ、ヘルスケアスタートアップ事業者が有する新たな技 術やサービスの社会実装に向けて、介護分野に特化し、本事業の参画機関である病院・介護施設へのニーズ調査を行い ながら、コーディネーターによる伴走支援を実施。
- 併せて、各コーディネータ間でのネットワーキングによる情報共有や、コーディネータ向けに介護業界の業況等をまとめた動画 教材を作成することで支援者側のアドバイス力の強化も実施。

ヘルスケア産業づくり貢献大賞





展示会出展支援



[Care Show Japan 2 0 2 5]



各種イベント開催





HP等での情報発信

(サンプル画面)

情報誌「Healthcare NEXT」

ビジネスマッチング会

ア(シンガポール)】

佐世保市健康寿命延伸推進協議会

事務局

佐世保市総合型地域スポーツクラブ 特定非営利活動法人 やまんた倶楽部

TEL: 090-8229-7763 FAX: 0956-37-1866

E-mail: yamanta.0430@outlook.jp



協議会の概要

✓ 佐世保市の地域課題・地域特性を踏まえた「生涯現役社会」を作り上げてライフステージや個人の健康状態に応じた健康 づくりを社会全体で支援する体制づくりに加え、医療・介護周辺のヘルスケアビジネスを創出することにより、地元の雇用・地 域経済への貢献を目指すことを目的としています

主な会員 (会員数:92企業・団体 ※令和7年1月28日時点)

医療·介護関係機関	佐世保市医師会、佐世保市歯科医師会、佐世保市薬剤師会等
ヘルスケア関係	大塚製薬株式会社、TOPPAN株式会社九州事業部
金融機関	株式会社十八親和銀行、九州ひぜん信用金庫、西海みずき信用組合
大学•研究機関	長崎国際大学
行政機関	佐世保市

✓ 職域に対する「健康経営の推進」、地域に対する「健康 づくりの支援」、これらの取り組みを持続させるための「組 織体制の強化」の3点を事業実施方針としています。

活動実績

- ✓ 令和6年度は、集合型イベントとして、住民参加による 「健康麻雀大会」を開催したほか、会員向けイベントとして 日帰りバスツアーを行いました。
- ✓ そのほか、地域で行われるイベントに「健康チェック」として参加し、骨密度や野菜摂取量の測定、血管年齢測定等を行いました。



設立の経緯 事業内容 当推進協議会について お問合せ

延ばさんば! 健康寿命!



健康寿命を伸ばすことは、健康に暮らすことができるだけでなく将来的な医療費 や介護給付費を減らすことにもつながります。一人一人が自ら日々の人生を楽し み、最期まで自分らしく生きることができる「生涯現役社会」の実現を私たちは 日指します。

立の経緯 事業内容 運動分野のお知らせ

アプリ「健康サセボーン」

令和6年度実施事業の一例





ウエルネスシティこうし

事務局

ウエルネスシティこうし事務局 TEL: 096-288-5629 FAX: 096-288-5639

E-mail: support@wellness-koshi.jp



協議会の概要

- ✓ 「ウエルネスシティこうし」は、健康寿命の延伸を実現するため関係機関が連携し、公的保険外のサービスを活用したセルフメディケーションを推進している。
- ✓ 「健幸都市こうし」を掲げている合志市の市民が、日常的・自発的に健康活動に取り組むためのきっかけづくりを行い、慢性期医療にかかる費用を、予防・疾病管理にシフトし、健康増進による医療費の抑制を目指す。

関係機関(会員数:11企業・団体/うえるこアプリ登録者数:1,785名 ※令和7年3月末日時点)

正会員	熊本県合志市、菊池養生園保健組合(医療機関)、株式会社H&Sプロモーション、 Kuru-Lab株式会社、一般社団法人クラッシーノこうし、株式会社藤本物産、株式会社ぞ うさんのはな、株式会社セイブクリーン、セイブ管工土木株式会社、株式会社くまもと健康 支援研究所、合志市商工会
学術機関	国立大学法人熊本大学

■人と地域が輝く未来へ〜健康都市こうし〜

- ✓ ウエルネスシティこうしが所在する合志市は、平成18年2月の市制開始以降、一貫して人口が増加し続けている自治体である。 近年では本市を含む菊池地域におけるTSMC等の進出による半導体関連産業の集積に伴い、さらなる発展が期待されている。
- ✓ 市では令和5年度末に総合計画第3次基本構想(令和6年度~13年度)を策定。人と地域が輝く未来へ~健幸都市こうし~を将来都市像として掲げ、健康で幸福な合志市を目指したまちづくりを行っている。

■ ウエルネスシティこうしのミッション

- ✓ ウエルネスシティこうしでは、健康寿命の延伸を実現するため、合志市を始めとする関係機関が連携し、公的保険外のサービスを 活用したセルフメディケーションを推進することにより、「住民の健康増進」、「医療費の適正化」及び「新ヘルスケア産業の創出」 を行うことを目的とし、もって地域の豊かで持続的な発展に寄与すること目指している団体である。
- ✓ 平成27年の設立以降、市民が自ら「健康」や「運動」に関して「気づき」、「行動し」、「継続する」ことの支援に注力し、企業等のノウハウを最大限に活用しながら、事業を実施してきた。

地域ポイントアプリ『うぇるこ』



<u>ホーム</u>



ヘルスケア 歩数計測や体重の 記録等が可能



スタンプラリー 市内のスポットを巡って ポイントを貯めるにとができる

フレイル予防とeスポーツによる認知症予防



活動実績

■UDe-スポーツを活用した認知機能の改善と見守りに繋がるシステム開発

- ✓ デジタル田園都市国家構想交付金を活用して、Ude-スポーツを活用した認知機能改善及び見守りに繋がるシステム開発。
- ✓ システム開発段階において高齢者サロン参加者を対象に体験会を行うなど、利用者の意見を丁寧に拾い上げ、開発につなげている。

■バーチャルウォーキング大会の実施

- ✓ コロナ禍においてもソーシャルディスタンスを保ちながら誰でも気軽に参加できるイベントとして、バーチャルウォーキング大会を実施。
- ✓ 専用の活動量計(ウェアラブル端末)を3カ月間装着し、日々の暮らしの中でウォーキングやランニングなどの健康活動量をスマートフォンと連動させて管理し競い合う。令和6年度354名が参加(令和3年度の初回実施以降、延べ1,600名超が参加)。
- ✓ 令和5年度から合志市の健幸応援アプリ『うぇるこ』を用いて、申し込みや健康活動量の計測、結果の報告等をアプリ上で行うことで、専用の活動量計が無くとも手軽に参加することが可能となった。また、大会期間中に参加者を対象に熱中症対策セミナー、栄養講座を対面で開催した。







携帯アプリ画像

鹿児島市新規事業創出コミュニティ ヘルスケア産業部会

事務局

鹿児島市 産業局 産業振興部 産業創出課

TEL: 099-216-1319 FAX: 099-216-1303

E-mail: san-sousyutu@city.kagoshima.lg.jp

◆ 地域:鹿児島県 鹿児島市

◆ 設立:平成24年6月26日

協議会の概要

- ✓ 鹿児島市の商工業振興の施策の柱の1つである<u>「新たな産業の創出」</u>に向け健康寿命延伸に寄与するヘルスケアビジネスのほか、異業種連携、産学連携などによる 新たなビジネスに取り組む事業者を支援するため、様々な業種の企業・団体でつくる企業コミュニティである「鹿児島市新規事業創出コミュニティ」を設置・運営。
- ✓ 運営する企業コミュニティの一つである「ヘルスケア産業部会」においては、**健康寿命の延伸や地域包括ケアシステムの構築に資するヘルスケアビジネス創出**に向けた取 組を推進。

主な会員 (会員数:105企業・団体 ※令和7年4月1日時点)

行政(部署名)	鹿児島市(産業創出課)
医療•介護機関	社会医療法人博愛会 相良病院 公益社団法人鹿児島共済会 南風病院、医療法人明輝会 など
ヘルスケア関係など、民間事業者	(株)True Balance、(株)セイカスポーツセンター、(株)カクイックス、A M I (株) (株)南日本情報処理センター、(株)南日本薬剤センター、(株)KAGO食スポーツ など
大学·研究機関·金融機関	_
その他(団体)	全国健康保険協会鹿児島支部

√ かごしまTechミーティング

産学連携の"きっかけづくり"を目的に、産学連携に積極的な鹿児島大学の研究者と企業が、ニーズ・シーズをディスカッションできる少人数制産学マッチングイベントを開催(写真①)

このほか、自社の課題・強みを言語化するワークショップや、ヘルスケアを始めとした様々なテーマのもと事業者同士の交流を促進するビジネスコラボレーション創出交流イベント、オープンイノベーションプラットフォームを活用した事業化伴走支援を実施

※新規事業創出コミュニティ(ヘルスケア産業部会)には、鹿児島市内 で新たなビジネスに取り組んでいる事業者等との連携を希望する場合、 鹿児島市外の事業者等も加入できます!

活動実績

✓ かごしまTechミーティング

平成29年度から実施し、これまで48件の個別相談、9件の共同研究 契約につながっている。

(共同研究テーマ)

- ・発酵食品に新たな機能性を見つける
- ・ホタルの光で病気の予防ヘルスケアイノベーションを目指す 等
- ✓ 補助金を活用した新サービス・新製品の創出 (※補助金はR6年度まで)(補助期間:R1-2)
 - ・色や素材のもたらす心理物理学的評価の測定機器開発 及び商品開発手法の確立(写真②)
- ・鹿児島県産「健康食」の開発を支援する機能性表示食品 開発支援サービスの創出プロジェクト

(補助期間:R2-3)

- 「withコロナ」「afterコロナ」に向けた健康経営・働き方改革への 実践的な取組み
 - ~オフィスマッチ・モデル(リモートとリアル)の構築~
- ・管理栄養士監修による栄養指導型ヘルスケア食品の開発(写真③)



